

2023年度 独創的研究助成費 実績報告書

2024年 3月26日

報告者	学科名	工芸工業デザイン学科	職名	教授	氏名	南川 茂樹
研究課題	実践から学ぶ機能と形態との関係についての教育的研究-プロダクト編-					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	南川 茂樹	工芸工業デザイン学科・教授	プロダクトデザイン	機能と形態との関係性 造形デザイン プロダクト製品の選定	
	分担者	仁科 聡	岡山県民藝振興株式会社・取締役営業部長	民藝品、工藝品の振興	民藝品、工藝品の選定 技法、素材の教示	
研究実績の概要	<p>サンプルとなる生活のさまざまな道具類を収集し、教員管理のもと学生に一定期間貸し出し、学生はその道具を日常の中で実際に試してみる。その使用感（機能）と形（形態）との関係を体感から考察する。僅かな形状の違い、素材の違い、技法の違いによって起こる差異を感じ取り、考察記録としてまとめる。その考察を自らの制作に反映させる。</p> <p>日常の中でさまざまな道具を体験することは理想であるが、現実的には膨大な時間と費用が発生する。専門家に道具を選定してもらい、この研究資金によって多数の道具類を収集できれば、学生たちにこの貴重な体験を与えることができる。</p> <p>この体験を通して、デザイン提案の造形的アウトプットに多大な効果を得ることができると、研究を進めた。</p> <p>まず、生活の道具の選出から始めた。</p> <p>昨年度の研究では、工芸・民藝の分野を中心に選定し、貸し出しを試みたが、学生の普段の生活の中で使用するものとやや距離のある対象となったため、今年度は、すでに学生が使用している生活道具との相性も影響することから、導入として身近に感じられるプロダクト製品を中心に選定した。その中でも、形態・機能に特に優れている北欧の食器を中心に選んだ。</p> <p>以下そのリスト</p> <p>タグカップ（塚本カナエデザイン）：5点 ガラスボール（イッタラカステヘルミ）：3点 シリアルボール（アラビアスヌンタイ）：1点 ピッチャー（アラビアパラティッシ）：1点 カップ&ソーサー（アラビマイニオ）：1組 カトラリー（チッテリオデザイン）：3点 タンブラー（イッタラカルティオ）：4点 プレート（イッタラティーマ）：大2点、小2点</p> <p>これらの道具類の一覧表を制作し、さらに貸出を促す告知ポスターを制作しデザイン学部内に掲示した。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>しかし、コロナウイルス 5 類移行となっても直接口にするものの使用に関わる問題か、貸出を希望する学生が数名にとどまった。ただ数少ないサンプルからでも、実際に使ってみて気付くことがあるとの意見があり、形態・機能に関わるデザイン提案の造形的アウトプットに多大な影響を与えることとなった。</p> <p>使ってみたレポートから</p> <p>食器において、見た目だけでは判断できない機能面の利点や直接口にするものの素材の影響が顕著に現れた。飾りに見えたものが、手で持つための滑り止めになっていることや、現代のライフスタイルに則した電子レンジや食洗機に対応している点など、形態だけでなく機能面も工夫されていることに気付いた。このことから、この研究の有効性に手応えを感じた。</p> <p>これを踏まえ、被験者を増やすべく今後の課題として、貸出を促す工夫を考え、道具類を民藝・工藝の分野とプロダクト製品あわせて継続で検討を進めたい。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>貸出品一覧表 貸出を促す告知ポスター（縮刷版）</p>